

もっと『ひやま』の魅力発信を！ 観光特産品情報発信サイト開設

檜山管内7町が連携し、各町の魅力を発信するインターネットサイト『旅せよ、ひやま』が公開されました。

これは、今年2月に7町が合同で行った東京都大田区での『ひやま食観光フェア』と同様に、まちとまちが連携して、地域全体の魅力を発信していこうという動きのもと行われ、今後こうした連携の動きが加速していくこととなります。

サイト内では、檜山地域の歴史を横断的に紹介し、また各地域の観光スポット、特産品などが公開され、檜山の魅力が一目で確認できるような作りとなっていることから、今後交流人口の拡大に繋がることが期待されます。



旅せよ、ひやま
<http://www.hiyama-hokkaido.jp/>



高校生が被災地支援

5月14日、熊本を中心に発生した地震被害への支援を目的として、上ノ国高校の生徒19名による募金活動が実施されました。

熊本では、4月14日頃から連続して大規模な地震が発生し、現在も余震が頻発するなど不安定な状態が続いており、道路分断や家屋倒壊等の危険から多くの方々が避難所にて生活をしています。

上ノ国高校では、自分たちでできる支援はないかというのを生徒が考え、募金による寄附が最も効果が大きいとの判断から、今回の募金活動の実施となりました。旧上ノ国駅前商店街の街頭に立った生徒は、『熊本地震支援への募金をお願いします！』と大きな声を出し、約1時間にわたり募金活動を行い、地域の方々の協力のもと、多くの募金を集めることができた模様です。

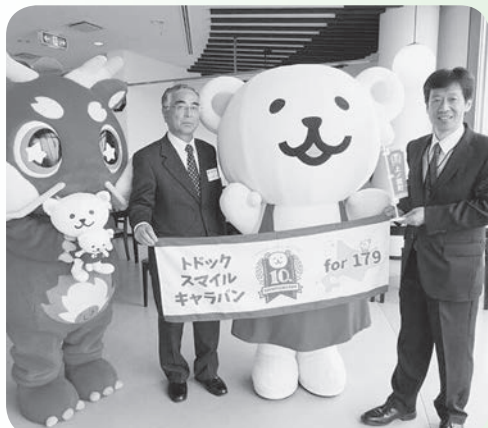


笑顔繋ごう トドックスマイルキャラバン

5月10日、食材等の宅配サービス『トドック』を運営するコープさっぽろが、宅配事業開始から10周年を記念して全道各地を行脚するトドックスマイルキャラバンが本町にもやってきました。

トドックは、食材などを町内各地域で移動販売するサービを行っており、高齢者や遠出が難しい主婦から支持され、本町でも多くの方々が利用しています。

本町とコープ札幌の間には『高齢者見守り活動協定』が3年前から締結されており、移動販売中に「昼間から高齢者世帯の電気が付けっぱなしになっている」など異常を発見した場合は、行政機関に連絡することになっており、今後も官民連携で地域社会の充実を図っていくこととなります。



夏を前に交通安全教室

5月24日、保育所父母で構成される子ぐまクラブ（鈴木ひろみ代表）主催による、交通安全教室が上ノ国保育所で行われました。

これは、園児達の外遊びが始まるとともに、交通量が増える夏を前に、交通安全について教えようと、講師に江差警察署の警察官を招いて行われたものです。

教室では、外遊びでありがちな道路への飛び出しへの注意や、横断歩道での安全確認などが教えられ、確認のために「横断歩道でまづすることは？」と聞かれると、園児達からは我先にと「左右を確認する！」「手を挙げて渡る！」と声飛び、集中して聞いている様子でした。

その後、園児達は外の横断歩道前に移動しましたが、教えられたことをバッチリ実践して渡ることができていました。

